

# 伊方町報

## 伊方町

発行所  
伊方町 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦  
〒796-03 ☎伊方局38-0211

編集  
伊方町 湊浦

印刷所  
伊方町 湊浦

社務課  
伊方町 湊浦

電話  
八幡浜市松柏 ☎22-0144

### 今月の紙面

- 二面……62年度の当初予算  
正しい選挙  
転入増で面接調査
- 四面……消防出初式・駅伝  
郵便局ロビー展  
健康づくり推進大会  
民話と伝説「豊之浦」  
国民年金上がる
- 六面……ヤングロビー(居村さん)

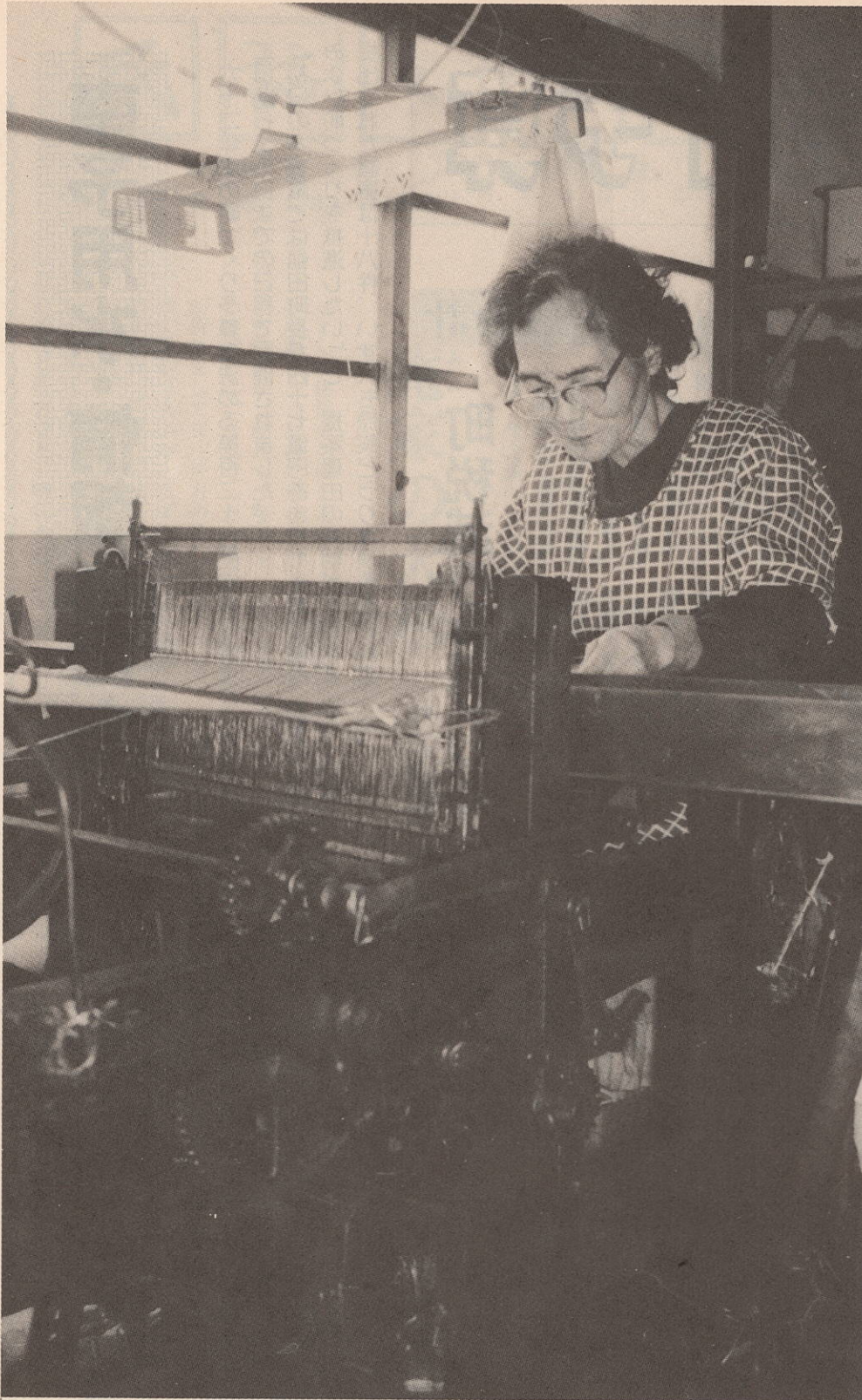
### ふるさと再発見 ②

## 西陣織りが町内からも

トントンギットン、ギットントン——懐かしい機を織るときは音です。ほとんど聞けなくなり、今でも十数人が伝統技能を守り、西陣織りとして出荷されています。

織り物といえば西陣。広く知られ、和服に興味のある人ならぜひ着てみたい着物の一つだそう。

西陣織りだから、当然京都で生産されたものだと思っていました。ところが、西陣の湊浦の政木吉春さんが経営する伊方カスリ工場が製造元



木製の織機も希少価値。柄も複雑化し、30年以上のベテランでも1日1反あまりが精いっぱい

政木さんが織り物の仕事にたずさわったのが昭和二十九年からのこと。四十二年までは伊予紬を、その後

現在の工場は二カ所。個人の家に持ち帰っているものを含め十五台の織機が動いています。それでも県内の同業界では最大手。

この事業は元々、伊方村の

### 紬(かすり)織物

愛媛の紬(かすり)織物は、伊予紬として全国にその名が知られています。仕事着、普段着、布団地などとして第二次大戦前ごろまで中予地方を中心に盛んに製造されていましたが、近年は松山市内に十数社だけとなりました。

最盛期は明治末期から大正初期で、久留米、備後と並んで三大産地を形成。明治四十年ごろには生産量全国一を誇っていました。昭和に入ると経済不況や洋装の普及で生産は下降線をたどり始めました。三十年代に一時回復しましたが、四十年以降激減しています。

昭和五十五年五月、県の伝統的特産品産業に指定され、紬の洋服化など新しい需要の開拓が始まりました。

町内でも昭和四十二年ごろまでは伊予紬として製造されていたが、その技術を京都西陣に認められてから「西陣つばら織り」として、現在でも年間二千反あまりが出荷されています。

## 600円で万一に

### 家族ぐるみで交通災害共済

今年も交通災害共済の加入手続き時期になりました。万一に備え家族ぐるみで加入しましょう。

すでに、小中学生はそれぞれの学校を通じて加入推進を依頼しました。一般のかたも役場総務課と町見支所で受け付けを始めています。

また、三月下旬から町内を巡回して加入を呼びかけることにしています。日時や場所などは広報無線放送と区長さんを通じてお知らせいたします。

今年も保育園児は全員町費で加入することになっていますので、手続きの必要はありません。

**保育園児**

今年も保育園児は全員町費で加入することになっていますので、手続きの必要はありません。

#### 〔加入資格〕

町内に居住し、住民基本台帳及び外国人登録されている人。また、高校生や大学生などで町外に居住している人も加入できます。ただし、この場合は世帯主の加入が必要です。

**〔共済掛金〕** 一人年額  
一般………六百円  
中学生以下……二百五十円

**〔共済期間〕**  
昭和六十二年四月一日から六十二年三月三十一日まで。期間中はいつでも加入できます。

**〔共済見舞金〕**  
災害見舞金は左表のとおりです。加入者であれば日本国内のどこで発生した交通事故でも対象になります。ただし、飲酒運転などの特別な場合には見舞金が支給されないことがあります。

**〔問い合わせ先〕**  
手続きや災害見舞金などについては役場総務課文書広報係までお尋ねください。

### 災害見舞金

等級	災害の程度	金額
1	死亡	100万円
2	医師の治療実日数360日以上の傷害	20万円
3	医師の治療実日数180日以上360日未満の傷害	17万5千円
4	医師の治療実日数96日以上180日未満の傷害	15万円
5	医師の治療実日数80日以上96日未満の傷害	12万5千円
6	医師の治療実日数64日以上80日未満の傷害	10万円
7	医師の治療実日数48日以上64日未満の傷害	7万5千円
8	医師の治療実日数32日以上48日未満の傷害	5万円
9	医師の治療実日数16日以上32日未満の傷害	3万円
10	医師の治療実日数7日以上16日未満の傷害	1万円

# 47億円のデツカイ予算

## 南予用水・情報化にも

六十二年度の町づくり予算を決める第百二十八回定例町議会が、三月十二日から二十日までの日程で開催されました。初日の本会議では福田町長が四十七億円の予算を組む「豊かで住みよい町づくりを推進したい」と、提案理由の説明が行われました。今回提出された議案は十八件、いずれも原案どおり可決承認されました。

### 一般会計

#### 町税減りきびしく

町には一般会計と特別会計など七つの台所(会計)があります。七つ全部合わせた予算は約四十七億円で、昨年より六百万円増えました。それぞれの会計別予算額は下表のとおりです。最も身近で、町づくりの中心をなす一般会計から紹介します。

**入るお金** 一般会計の入ってくるお金を見ますと、総額三十億四千三百万円。今年も同規模町村の二・五倍のジャンボな予算となりました。

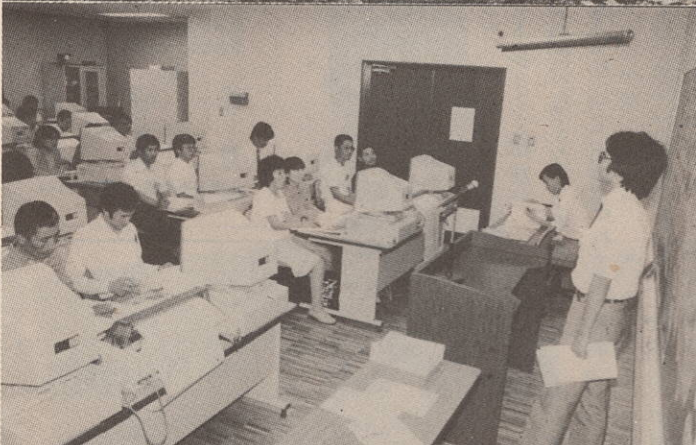
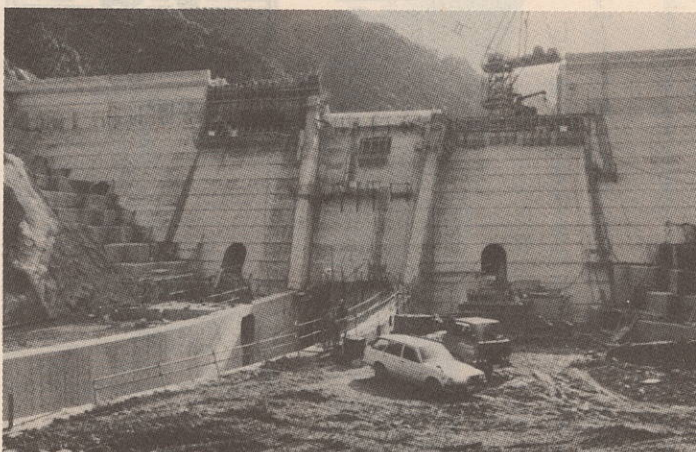
**使うお金** 今年も町の活性化と若者の定住化を目指した予算となりまして、次のように使われています。

#### 当初は継続事業中心

今年も五年連続の不交付団体で、大部分の市町村の財源の中心を占める地方交付税は計上されていません。これは、本町が町税などの自主財源が国の基準以上にあるためです。

農林水産業費六億五千万円、公共施設整備に借り入れたお金の返済に当てる公債費四億二千八百万円、福祉関係の民生費三億四千九百万円、町道や港湾整備などの土木費三億二千八百万円の内訳となっています。

資産税のため年々一定割合で償却され、今年も一億四千三百万円あまり減りました。しかし、法人税は約四千万円の伸びが見込まれています。二番目に多いのが県支出金で二億八千七百万円。昨年より二千三百万円増えました。次いで国庫支出金の二億八千四百万円となっています。これらは町が行う事業に対する補助金などです。



川永田に建設が進んでいる南予用水事業の伊方調整池(上) 今年からパソコンに加えワープロ教室も新設(下)

### 受講生募集

#### ワープロなど80人

町情報化研修センターではワープロ教室・パソコン教室の受講生を募集しています。ワープロ教室は昨年の受講生からの要望で今年から始めるものです。パソコン教室も時間を増やし充実しました。

申し込み期間は三月末日まで、早めに役場政策局へ申し込んでください。

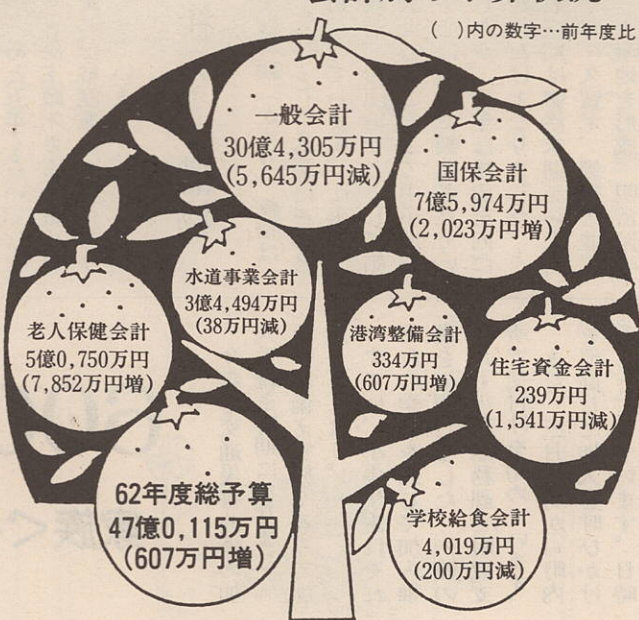
**ワープロ教室**  
(コース)  
(A) 午後一時半から四時半  
(B) 午後六時半から九時半  
(期間) 五月八日から二十九日

**パソコン教室**  
(コース)  
(C) 午後一時半から四時半  
(D) 午後六時半から九時半  
(期間) 五月七日から七月十四日まで(三ヶ月間、一週間に二回受講)

(場所) 伊方町民会館  
(定員) 各二十人  
(受講料) 一人一万五千元

までの約一ヶ月間、一週間に三回受講。

### 会計別の予算状況



### 特別会計

#### 保険税の軽減を

国保会計は、加入者の保険負担を軽減するために一般会計から約二千万円繰り入れられました。事業と直結勘定合わせて七億五千九百七十四万円で、昨年より約二千万円増えました。また、水道事業は町内全域の配管工事最後の年で三億四千四百九十四万円が計上されています。

### 主な事業

福田町長の町づくりには3本の柱があります。62年度予算を3つの柱に分けて、主な事業を拾ってみました。

#### 定住できる町づくり

地区自治振興基金 1億7,900万円  
ワープロ教室など情報教室 1,600万円

統一地方選挙執行費	532万円
心身障害者福祉給付費	426万円
敬老会補助(1人1,500円)	240万円
長寿祝金(1人8,000円)	240万円
成人病・胃・婦人集団検診	1,443万円
ゴミ処理業務委託料	1,380万円
大成・鳥津消防倉庫改修	102万円
広域消防・し尿処理負担	7,258万円
二見大松線改良	1,000万円

九町女子線改良	500万円
希望あふれる町づくり	
教員住宅譲受	152万円
奨学資金貸付基金積立	400万円
小中学校施設補助金	600万円
小中学校教材充実費	504万円
中学生の遠距離通学費補助	297万円
町民ホール開催費	150万円

活力ある町づくり	
農漁業関係負担金	6,284万円
果樹振興資金貸付金	1,500万円
南浦土地改良総合整備	2,525万円
豊之浦農道改良	4,100万円
南予用水事業基金積立	7,000万円
漁港修築及び改良	2億9,900万円
伊方港改修	2億7,000万円

# 町のわたい

## 水ヶ浦小に体育館

水ヶ浦小学校に体育館が1月31日に完成しました。鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ703平方メートルです。

総工事費は1億2,000万円で昨年7月から工事を進めていました。この工事には3,220万円の郵便局の簡易保険還元融資を受けています。



一階倉庫、競技場は二階に

## 畑集会所が完成

畑集会所が2月20日に完成しました。鉄筋コンクリート造り2階建て、延べ226平方メートルあります。

昨年8月から工事を進めていたもので、費用は2,800万円です。集会所は地区のコミュニティ活動の拠点として活用していただくため、町では老朽化していたものから順次改築を行っています。



立派に完成した畑集会所

## 車のプレゼント

伊方福祉工場(九町一榎尾博一代表)に、伊予銀行社会福祉基金から移送用自動車のプレゼントがありました。

同基金は、10年前から県内の福祉施設に機器の贈呈を行っています。贈られた車は、日産サニーライトバン1,500ccです。3月10日に贈呈を受け、さっそく従業員の送迎用に活用を始めました。



移送用に贈られたライトバン

# 正しい選挙

## わたしたちの一票は 代表を選ぶ重要な権利

明るく正しい選挙を……選挙のたびに聞かされる言葉で、もう耳にタコができたと言われる人もあるかもしれません。しかし、ちよつとまっすぐささい。わたしたちの一票は、国や県や町の政治を委ねる人を選ぶという重要な権利でもあり、投票の結果によって、政治の良し悪しが決められることにもつながる大切な一票です。

### 主役はあなた

現代の民主政治のしくみは、わたしたちが代表者を選び、その代表者によって政治が行われます。ですから、代表者を選ぶわたしたち(選挙人)が主役なのです。

ともすれば、自分の一票ぐらいで政治がどうなるものでもないとか、投票に行くのがめんどういからと、棄権したりして政治への参加権利を自らの手で断ち切ってしまう人がいます。これでは国民主権の民主政治の芽を自分でつみ取ってしまうことになりません。「政治が悪い」という前に、自分自身でよく見、よく聞き、よく考えて一

票を投じ、住みよい町づくりに参画したいものです。特に若い世代の投票率が低いという数値が出ています。

## 転入増加で調査

### 町と選管が三月に実施

今年一月に転入者が異常に増加したことで、町は住民基本台帳法上から、また町選挙管理委員会では厳正な選挙を執行する立場から双方で協議した結果、文書と面接による二つの方法で実態調査を実施することにしました。

まず、二月十八日に往復はがきによる住民登録実態調査を、三月二日から転入者の面接調査を行いました。

調査の対象となったのは昨年九月二十二日から今年一月二十日までの間に転入届をした三百三人。町職員四十五人が十五班に分かれ一戸一戸直接訪問して勤務先や転入の目的、生活していることを証明できる寝具などの確認を行いました。

町と町選挙管理委員会では現在、この調査結果を参考に対策を講じています。

## 疑いあれば 職権削除も

町と町選挙管理委員会が面接調査にふみ切ったのは、四月に予定されている町長選、町議選で選挙後に無効訴訟などになっても十分対応できるように、裁判所の判決例や他町村などの対応例を参考に実施したものです。

当初、調査の対象は三百三人でしたが、その後六十八人の自主転出があり、実際に調査したのは二百三十五人でした。

調査を実施したところ、直接本人に面接できたのが二百二人、家族や家主が二十七人、面接できなかったのは六人でした。最終的に架空転入の疑いのある人には、通知書を送付して自主転出をお願いすることになりました。このあと、催告書、職権削除の順で処置されます。

## 郵便による不在者投票

### 選挙マメ知識

今年統一地方選挙で、四月十二日に県議会議員選挙、四月二十六日には町長・町議会議員選挙が予定されています。

不在者投票で以外と知られていない制度に、障害者の郵便による投票制度があります。該当する人は、自宅などの現在自分のいる場所での不在者投票することができません。利用して棄権することのないようにしましょう。ただし、次に該当する人に限られます。

身体障害者手帳の交付を受けているとき

(一)両下肢若しくは体幹の障害若しくは移動機能の障害にあつては一般若しくは二級と記載されている人

(二)内臓機能の障害、ぼうこう若しくは直腸若しくは小腸の障害にあつては一級若しくは三級と記載されている人

### 「戦傷病者手帳の交付」を受けている人

(一)両下肢若しくは体幹の障害で手帳に特別項症から第二項症と記載されている人

(二)内臓機能の障害、ぼうこう若しくは直腸若しくは小腸の障害で手帳に特別項症から第二項症と記載されている人

このような障害のあるかたは郵便による投票ができますが、郵便投票証明書が必要で、役場総務課内選挙管理委員会までお尋ねください。

## 障害者のかたはご利用を



ときどき小雪のふる中、日頃の訓練成果を披露した出初式

# 消防出初式

町消防団(三好章一団長)恒例の出初式が、三月一日に伊方中学校グラウンドで開かれ、町内十九の分団から三百三十五人の消防団員、四国電力伊方発電所消防隊十八人が勢ぞろいして、消防団員の心意気を示しました。

# 訓練成果きびきびと

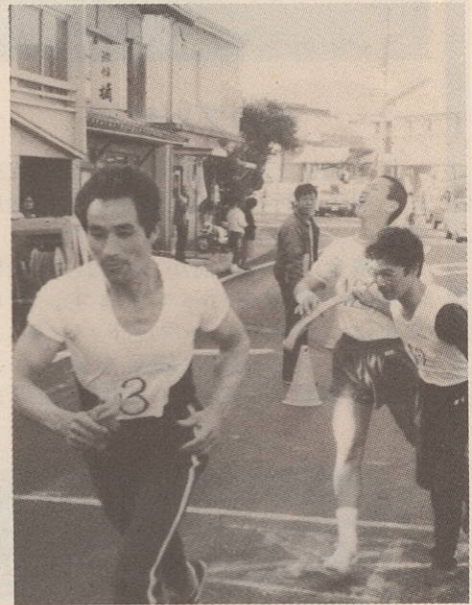
## 団員の心意気示す

式典は午前九時から始まり、人員報告、服装や機械器具の点検が行われました。続いて、選抜分団による小隊訓練、ポンプ操法、第二分署による救助訓練、優秀団員や無火災分団の表彰のあと、福田町長訓辞や来賓の激励を受け式典を終りました。

この日表彰された皆さんは次のとおりです。

敬称略

- ▽日本消防協会会長表彰
  - 功績章 三好章一(湊浦)
- ▽県知事表彰
  - 功績章 井上紀年(小中浦)
  - 功績章 金山保久(二見)
- ▽県消防協会会長表彰
  - 功績章 兵頭照正(伊方越)
  - 功績章 渡辺幸二(湊浦)
  - 大山忠義(二見) 阿部善雄(龜浦) 森元修治(奥) 道上勤(二見) 小池美鶴(川永)
  - 堀内和一(向) 坪内光典(畑) 大橋伴久(須賀)
  - 鳥津彦明(鳥津)
- ▽八西消防団連合会長表彰
  - 規律章 道元伊勢夫(鳥津)
  - 水本勘一(大浜) 堀口栄作(中之浜) 渡辺公和(仁田)
  - 之浜 久保常治(河内) 清水三博(小中浦) 田中利幸(中浦) 大星龍治(川永田)
  - 三好久隆(豊之浦) 兵頭千尋(伊方越) 大沼正一(龜浦) 下向清光(向) 重岡英治(田之浦) 古田俊介(大成)
- ▽無火災分団表彰
  - 竿頭級 第九分団(豊之浦)
- ▽感謝状
  - 家族内助の功労者 兵頭キヌ子(伊方越)
- ▽町長表彰
  - 梅田和史(小中浦) 山本博文・浜野上英昭(大浜) 田中成明・渡辺太(仁田之浜) 二宮正光(河内)
  - 加藤健二(湊浦) 三好千代昌(小中浦) 亀井教行・井上憲佳(中浦) 泉美知夫・畑中覚夫(川永田) 井上幸哉・林勝範(豊之浦) 堀内忠利(向) 二宮五郎・米沢博之(畑) 菊池雅博(久保)
  - 上田俊二(二見) 山下金善二(宮太) 井上昭二(田之浦) 野田稔(加周)
- ▽町長感謝状
  - 菊池加明夫(川永田) 山口森兼(河内) 飛田文博・鎌土勝利(湊浦)



健脚を競った駅伝大会(2区中継点-九町)

## 河内が初の三連覇

### 駅伝 二部は町中野球部Aに

第十七回町駅伝大会が二月十一日に開催され、一部は河内チームが三連覇、二部は町中野球部A、町見中バレー部Aがそれぞれ優勝しました。今年の大会には、二部合戦を二十四チームが参加。田之浦集会所横から大浜を折り返し、伊方中学校をゴールの十九・五で健脚を競いました。

地区対抗の一部では河内チームが安定した力を発揮して大会新記録で優勝。この大会で

- |       |             |            |
|-------|-------------|------------|
| 二位    | 大浜チーム       | 一時間五十分四十四秒 |
| 三位    | 有寿来チーム      | 一時間八分十五秒   |
| 四位    | 中之浜チーム      | 一時間六分九秒    |
| 五位    | 湊浦チーム       | 一時間八分二十三秒  |
| 六位    | 須賀チーム       | 一時間八分四十八秒  |
| (区間賞) |             |            |
| 一区    | 上村数弥(大浜)    |            |
| 二区    | 渡辺三郎(河内)    |            |
| 三区    | 松田裕紀(河内)    |            |
| 四区    | 矢野吉男(大浜)    |            |
| 五区    | 長野紀代満(河内)   |            |
| 六区    | 上田直樹(河内)    |            |
| 七区    | 宮脇良元(湊浦)    |            |
| 八区    | 谷村栄樹(畑)     |            |
| 九区    | 萩森洋二(河内)    |            |
| 十区    | 上田 忠(河内)    |            |
| (男子)  |             |            |
| 優勝    | 町見中野球部A     | 一時間六分九秒    |
| 二位    | 町見中バレー部     | 一時間八分二十三秒  |
| 三位    | 伊方中野球部A     | 一時間八分四十八秒  |
| (区間賞) |             |            |
| 一区    | 池田 亮(町野球A)  |            |
| 二区    | 山崎利彦(町バレー)  |            |
| 三区    | 辻 政彦(伊バスケA) |            |
| 四区    | 三根生彰広(町野球A) |            |
| 五区    | 古田俊朗(町野球B)  |            |
| (女子)  |             |            |
| 優勝    | 町見中バレー部A    | 一時間十三分一六秒  |

## まちの地名考②

### ○町見(まちみ)

明治二十三年(一八九〇)の町村制実施で、同年三月に九町浦と二見浦が合併。双方の一字を採り町見村となった。

昭和三十年三月には隣村の伊方村と合併し「伊方町」となる。

### ○二見(ふたみ)

二見本浦・加周・田之浦・古屋敷・鳥津・大成の六つを総称して二見と呼ぶ。「フタミ」とは「フトウミ」の意味で海神を敬った語である。

三重県二見浦の景観に似たところから二見と名付けられたものと思われる。

### ○九町(くちょう)

戦国時代末期の天正年間(一五七三〜一五九一)に得能主膳が治めていたところ。奥・向・畑・須賀・久保・西の六地区を総称して九町と呼ぶ。

同じような地名に伊予郡土地の広いところからきた双海(フタウミ)町がある。



戦国時代末期の天正年間(一五七三〜一五九一)に得能主膳が治めていたところ。奥・向・畑・須賀・久保・西の六地区を総称して九町と呼ぶ。

同じような地名に伊予郡土地の広いところからきた双海(フタウミ)町がある。

## 郵便局ロビー展

伊方郵便局(田辺新一郎局長)で二月十四日から一カ月間、簡易保険・郵便

## 似顔絵いっぱい

年金「似顔絵展」が開かれました。

この似顔絵展は今年で二回目。一月に小学校入学前の幼児と小学校一・二年生を対象に募集したもので、

ひげがあったり、ホクロや顔のシワまで細かく描かれたユーモアあふれる作品ばかりです。

伊方郵便局では入選十七点には賞状を、参



家族づれも力作に足を止めて

# 説 伝 と 話 民

取材先/豊之浦 補作/岡村 豊  
挿絵/山本一路(湊浦)

42

## 心の健康をテーマに

### 健康づくり推進大会開く

心の健康——をテーマに、第八回健康づくり推進大会が二月十一日に伊方町民会館で開催されました。

今年は、すこやか家庭体操や小中学生の健康作文の表彰なども新たに加わり、保育園児からお年寄りまで五百人あまりが参加しました。



手軽にできる健康体操も参加者全員で

この大会は、保健センターが開設された昭和五十四年から毎年行われています。今年の大会で表彰された皆さんは

次のとおりです。

#### 健康優良家庭

- ▽仁田之浜——清水岩佐
- ▽湊浦——梶田和昭
- 三歳児のむし歯0の母親表彰(三歳児名)
- ▽大浜——中藤ひろみ(健一郎)
- ▽中之浜——菊池安子(竜王)
- ▽仁田之浜——柿内元美(信政)
- 松下琴(惠理子)
- ▽湊浦——加藤八千代(智浩)
- 亀田宏美(美紀) 井上みえ(舞) 松本富子(チエ) 岡本祐子(和倫) 宇高スミ子(光夫) 片山瑞恵(雄介) 大谷三枝(肇) 中田美恵子(あゆみ) 一色和江(ひろ子) 高橋由紀乃(紗也香)
- 西原佐代(香奈) 兵頭由美

- (麻希) 木戸多鶴(勇児)
- 松岡恵子(宏美) 大西えり(博之) 園部知子(準也)
- 中田フサミ(修平) 高橋佐智子(純一) 真鍋真由美(佳恵) 広瀬佳代子(亜也)
- 人) 弓立和子(敏子) 木本礼子(浩嗣) 大沼康子(紗希) 中内瑞穂(龍馬)
- ▽小中浦——井上祥子(貴雄)
- ▽川永田——宇都宮みゆき(定) 加藤真由美(公裕)

#### 健康作文

- ◎町長賞 井上佳子(豊之浦小) 三好 武(伊方中)
- ◎健康づくり推進協議会長賞 谷口 実(水ヶ浦小) 波内知津(伊方中)
- ◎町議会賞 梶谷ミチ(伊方小) 古田加代(町見中)
- ◎教育賞 中田仁美(有寿来小) 渡辺 綾(町見中)

表彰を受ける健康作文の入賞者

豊之浦の前の浜の上に老人憩いの家がありましてな、昔はここが庵寺でした。昔のお大師さまやいろいろな仏さまをいっしょにお祭りしたりしますが、この家の裏にな、辻家とおじよばの墓場がありましてな、その崖っぷちに黒松で二股の大松がありました。これは、豊之浦のシンボルだよ。

## 庵家の大松

豊之浦

ルとして住民から親しまれてきた木じゃったのです。昭和十一年か十二年ごろに、台風で一方の枝が折れましてな、片方の枝だけでは釣り合いがとれず、このまま放っておいたら、いつかまた、折れて下の屋根の上に落ちるやらわからんで、残りの枝も仕方なく、昭和十五



枝の折れたあとを見たら、二股のところが腐って大きな鬆がいつか、密蜂が巣をしておりよったこともあるので、打瀬船で漁を終えて八幡浜の大島沖から戻ると、この大松がよう見えよつといのう。昔は、船が暴風雨で難波しつてもつたら、よう引き揚げ

んけん、そのまま漁礁となるので、これを「船瀬」といいます。船の位置から大松を見おして、船瀬や瀬をよけて走りよつたが、打瀬船は、底引き網の一種で、ふくろ網に袖網をつけて、風力や潮力を利用して、海底を引いて魚やエビをとりよつ

わしらはじめ豊之浦の者が「子供のころからながめて暮らしてきた、堂々とした立派な松じゃったがにの……」と、庵家の大松が惜しまれてなりませぬ。協力者……渡辺勘太郎さん、辻 藤吾さん、井上千芳さん(豊之浦)

## 健康の窓

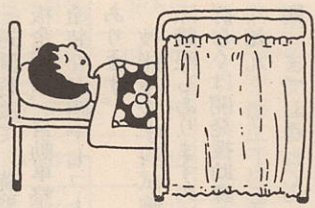
健康の窓は、皆さんが開けなければなりません。保健センターでは、そのお手伝いをしたいと考えています。

### 継続は力なり

本校で早朝トレーニングが始まって四年目を迎える。年中通して七時四十分登校の生徒たちが、今朝も冬空の下、息をはずませながら、もくもくと走っている。百二十四人が思い思いのペースで。

最初は、各部活動単位の早朝練習であったのが、自然な流れで現在に至っている。(朝の苦手をわたしは、はずかしながら傍観者に徹しているにすぎないが……) 振り返れば、転任早々の保健室はいつも何かしら不健康な生徒であふれていたように思う。生活習慣の乱れからくる不安愁訴をはじめ、忍耐力が少なく少しのことで弱音を吐く生徒が多かった。—— 四年前。

今、保健室はひっそりとしていて、穏やかに。授業中保健室で過ごす生徒が、うんと少なくなった。体力がついて少したこと弱音を吐かなくなった。我慢ができるようになった。心も身体も丈夫になってきた。



### 係から

保健推進員さんの任期は三月末でおわりです。健診などで大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

# Young Lobby

## ホップ・ステップ・青春

居村 裕司さん  
(仁田之浜=20歳)



### 青年大会で活躍

居村さんは、小学校の時から陸上大会で活躍。八工に入學してからも陸上部に籍を置き、三年生のときの高校総体では四国大会にも出場した。

新人類がビッタリの二十歳。



愛媛県選手団の入場行進 (国立競技場)

昨年十一月八日に、東京で開かれた全国青年大会に本町から相模団体とともに、陸上競技の三段跳びに居村裕司さん(二十歳)仁田之浜(二十歳)が県代表として出場した。

しかし、わずかの差で惜しくも入賞できずインターハイ出場は夢は敗れた。

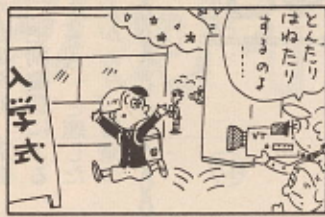
そのときの悔しさを胸に昨年の青年大会県予選では見事優勝。あこがれの国立競技場

高校卒業後、一年あまり都会生活を体験したが、現在は家業の中心となって頑張っている。

貴重な体験をした。「テックイ夢を持ち、自分を磨きたい」と、張り切っている。

### さわやか君

西村 宗



国民年金の保険料が、四月に納める分から一カ月三百円上がって七千四百円(現在七千円)になります。

保険料の改正は、受け取るべき条件を良くしたり、人口の高齢化に伴い年ごとに増加する受給者に対応するためのものです。

なお、付加保険料は今までどおり一カ月四百円です。国民年金は、すべての人が加入し基礎的な年金を受ける

制度です。そのために必要な費用は三分の一を国が負担、あとの三分の二は加入者が保険料として、公平に負担しなければなりません。

将来、保険料の未納などで減額されては大変です。納め忘れないようにしましょう。

ちなみに、本町の加入者が昨年一年間に納めた保険料は約一億七千万円、受け取った年金額は約五億五千万円でした。

放置して使わなくなったバイクなどの廃車届は三月末までに済ませましょう。

届出が四月に入りますと今年一年分の税金が必要で、印鑑とナンバープレートを持参のうえ役場財務課へ申し出て下さい。

バイクでも排気量が百二十五ccまでは市町村が扱い、これ以上の大きなバイクの届出業務は松山市にある陸運事務所になります。早めに届出てください。

### バイクの廃車届

詳しくは役場住民課国民年金係までお尋ねください。

### 高門さん

### 香典返しに200万円

川永田の高門清彦さんから福祉関係に役立ててほしいと二百万円の寄付がありました。

高門さんは、先般二月六日に急逝されましたご尊父高門嘉夫留氏の香典返しとして町にご寄付いただいたものです。

町では、さっそく社会福祉協議会のまごころ銀行に預託。現在活用方法を検討中です。紙上から厚くお礼申し上げます。

# 300円上がります

## 4月から国民年金の保険料

### 前納制度

保険料は一年分まとめて前納すると割引になります。

この制度を利用すると月々納める手間が省け、納め忘れることもなくなります。

### 町内の交通事故

3月1日現在

発生件数	10件
(2月)	4件
負傷者数	3人
(2月)	0人

昨年から町補導会が中心となって、大時トンネル西側の国道で無灯火自転車の指導を定期的に行っています。

夕方六時前後の高校生の自転車通学生は半数近くは、暗くなってもライトをつけていません。

暗くなつての無灯火は、たいへん危険です。自分を守るためです。ライトをお忘れなく!

伊方・町見駐在所

昭和62年2月1日現在  
世帯数2,774戸(+97戸)

### 人の動き

人口 8,863人 (男4,326人(+94人) (+206人) 女4,537人(+112人))

### えんむすび

昭和62年1月1日  
1月31日

### お誕生おめでとう

昭和62年1月1日  
1月31日

### おくやみ

昭和62年1月1日  
1月31日

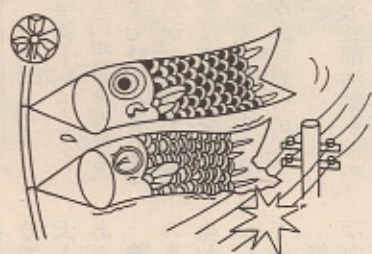
### 情報ボックス

### 技能研修生

愛媛技能開発センターでは昭和六十二年度の研修生を募集しています。

研修期間は二日から三週間程度で、旋盤、板金溶接、自動車整備、塗装など四十七コースあります。

技能検定学科試験免除講座もありますので、詳しくは開発援助課(〇八九九-七二一〇三三四)までお尋ねください。



●こいのぼりや吹き流しが電線に巻きつかないように、電線から十分離れたところにたててください。

万一、電線に巻きついたり、サオが電線に倒れかかったときは、絶対に触れないで、すぐ近く四国電力へご連絡ください。

### こちら編集室

先日、九町出身のかたから「まちの地名考」について便りをいただきました。

この中に、こんな話がありました。「軍隊でのこと、二等兵が上

官に「お前伍長か、わしや九町じゃ、四丁下がって敬礼せい」と、いったとか。楽しく読ませていただきました。

地名は祖先の豊かな言語感覚を今に伝えるものです。由来が断定できにくいものだけに、記録や言い伝えがあればお聞かせください。エピソード多いに結構です。